

基本情報							
教科・科目		理科・理科1（地学・物理学）	・授業で使用するもの ①教科書 学校図書『中学校 科学1』（第3節・第4節を扱う） ②資料集 新学社『グラフィック理科資料集』 ③問題集 教育開発出版『中学の地学』『中学の物理』 ④授業プリント ⑤iPad（主に実験の記録をする際に使用）				
担当者		青島 諒太郎・齋藤 泰正					
評価割合（試験：試験外）		試験：5（50％） 試験外：5（50％）	定期試験は、理科1 50点、理科2 50点 の計100点満点で実施する。 試験外評価については、小テストや実験レポート、プレゼンテーション等で評価する。				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	単元で扱う科学的事象や考え方を理解するための土台となる基本知識を理解することができる力。				
		理知（思考力・判断力・表現力等）	各単元で扱う科学的事象について、知識や実験に基づいて論理的な説明をすることができる力。				
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）	新しく出会う現象や考え方について、その考え方を使って自分なりの考えをつくり発信する力。				
学習情報							
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント	
4		ガイダンス・火山	①ガイダンス <年間を通して> 自然科学において不可欠な実証（実験）における意義を理解して安全を十分に意識する。 ②火山 火山活動のメカニズムと地理の関係を理解する。 火山噴火と地球環境の変化（破局的影響や恵恩など）について関連づけて理解する。 火成岩・鉱物の特徴や生成メカニズムを理解し、火成岩と過去の火山活動を紐付けて考えることができる。	①ガイダンス →理科実験室の使いかた・実験器具の使いかた（主に顕微鏡） ②火山 →火山噴出物・火山噴火のメカニズム・マグマの粘り気と火山の特徴・鉱物と岩石（火山岩と深成岩） など	・講義 ・観察実習	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ	
5							
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日 範囲） ガイダンス・火山の学習内容（4,5月の学習内容）						
6		地震	地震の発生メカニズムと地理との関係について考察することができる。 日常生活で使われる「震度」と「マグニチュード」などの基本的な用語に関して理解する。 緊急地震速報の仕組みを学習した内容と紐づけて考えることができる。 学習内容から防災・減災の具体的な対策を意識・提案することができる。	①地震 →発生メカニズム（プレートとの関係）・プレート境界型地震と内陸型地震・地震波・震度とマグニチュード・地震に伴う大地の変化・防災と減災 など	・講義 ・実験 ・文献実習 ・プレゼンテーション	・小テスト ・観察実験レポート ・プレゼンテーション ・ポートフォリオ	
7							
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲） 地震に関する学習内容（6,7月の学習内容）						
8		地震 地層	学習内容から防災・減災の具体的な対策を意識・提案することができる。 地球環境の変化を土地の視点から意識する。	①地震 →防災と減災（夏季休暇課題） など ②地層 →地層の形成（V字谷、扇状地、平野、三角州） など	・文献調査 ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・ポートフォリオ	
9		地層	地球環境の変化を地層・岩石から読み取ることを通して、生物を取り巻く環境の変遷とそれによる生物への影響を理解する。 堆積岩・化石・地質構造の特徴や生成メカニズムを把握し、それらと過去の地質現象を紐付けて考えることができる。	①地層 →地層の形成（V字谷、扇状地、平野、三角州）・堆積岩の特徴・示相化石と示準化石・地層から明らかになる環境の変遷（柱状図の読み取り、調査内容の活用方法） など	・講義 ・実験 ・文献実習 ・プレゼンテーション	・小テスト ・観察実験レポート ・プレゼンテーション ・ポートフォリオ	
10							
定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日 範囲） 地層に関する学習内容（9,10月の学習内容）							
11		光の性質	光が物質中をどのように進むのか実験を通して理解する。 レンズの仕組みを光の屈折と関係付けて理解する。 可視光と不可視光にはどのような違いがあるか理解する。	①光の性質 →光の直進、反射、屈折（活用例を含む）・可視光と不可視光・凸レンズによる像（実像と虚像） など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ	
12							
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日 範囲） 光に関する学習内容（11,12月の学習内容）						
1		音の性質	音がどのように伝わるか理解する。 音の大小・高低・音色はどのような違いから生まれるか理解する。 音の伝わる速さが物質の状態や温度によってどのように変化するか理解する。	①音の性質 →音の伝わりかた（振動と波）・音の速さ・音の大小・音の高低 など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ	
2		力のはたらき	物質にかかる力はどんな場面でどのようににはたらき、どのように表現されるか理解する。 圧力・水圧・大気圧の仕組みを理解する。	①力のはたらき →力の種類と表し方・ばねの伸びと力の関係・圧力、大気圧、水圧のしくみ など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ	
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日—3月6日 範囲） 音・力に関する学習内容（1,2月の学習内容）						